

## 令和6年度 活動の目的及び事業計画

### ◎ 活動の目的

会員相互の緊密な連携のもとに、学校事務の研究、会員の資質向上、学校教育の円滑な運営に寄与できる事務職員の育成と会員間の情報共有をはかることを目的とします。

### ◎ 事業計画

多様な業務を抱える会員の事務支援を第一に考えて活動します。そして、市町組織及び共同学校事務室、県事研をはじめとする他研究会等と連携を図りながら、学校事務職員が共同学校事務室を活用して学校の業務改善や教育環境の充実などへの取組を進められるように支援します。我々学校事務職員が総務・財務等の専門性を生かして「チーム学校の推進」の一翼を担い、積極的に学校運営に参画し、子どもたちの豊かな教育を支援できるよう、以下の三つを重点として研究会事業を推進します。

#### 1 活動の重点

##### (1) 学校事務の機能を組織力で高めるための取組

- ・共同学校事務室を支援するための情報の発信や共有を図ります。
- ・共同学校事務室が抱える具体的課題解決に直結する研究を進めます。
- ・共同学校事務室の運営を担うことができる人材の育成を図ります。

##### (2) 「チーム時代の学校事務職員の構想図」で掲げた学校事務をつかさどる学校事務職員の育成

- ・構想図で示した「学校運営に参画する5つの手段」について、会員や共同学校事務室で取り組めるような研究を進めていきます。
- ・会員の多様な働き方に対応できる事務支援や研修機会の提供を進めます。
- ・研究会活動を通して、人材育成を図ります。

##### (3) 情報の共有と市町・関係機関との連携

- ・理事会を通して市町組織及び共同学校事務室との連携や情報の共有を図ります。
- ・会員、市町、県事研等とのコーディネート役を担い、情報の共有、事務支援、連絡調整等を行います。
- ・西三河教育事務所との連絡調整を行い、職務や研修体制の課題解決に向けて働きかけます。

#### 2 役員会及び事業部会の活動

##### (1) 役員会

西三事研の目的を実現するため、各事業部会と協力、連携しながら最小限の活動で最大の効果を生み出せるよう事業計画を進めます。また、市町組織、共同学校事務室、西三河教育事務所、県事研など関係機関と連携し情報共有や連絡調整を行い、継続した協力体制を構築します。

- ・総会、理事会の企画・運営
- ・学校事務研究会の企画・運営
- ・事業部への支援
- ・市町組織、共同学校事務室、西三河教育事務所、県事研など関係機関との連絡調整

##### (2) 研究研修部

「学校事務の機能を組織力で高めるための取組」と「『チーム時代の学校事務職員

の構想図』で掲げた学校事務をつかさどる学校事務職員の育成」を研究・研修の柱とします。そして、総務・財務の専門家として、意欲的・主体的に学校運営に参画し、学校事務をつかさどる「西三」の学校事務職員と共同学校事務室を目指すための研究を進めます。また、その実現に向けて研究成果を提供するとともに、会員の資質向上や人材育成を目指した研修会の実施や研修情報の提供を行います。

**【研究活動】**

- ・共同学校事務室の組織力向上と人材育成のための研究
- ・共同学校事務室で活用できる研修資料の検討
- ・事務支援部と連携した共同学校事務室研究の推進

**【研修活動】**

- ・夏季研修会の企画・運営（全体研修）
- ・県事研など他地区の研修会への参加や研修情報の提供及び会員への研修内容の伝達、企画運営方法の情報収集及び検討

**(3) 事務支援部**

各市町の手引きの収集や西三事研作成の手引き等の改訂を通して、日常的な学校事務の支援を図ります。市町の共同学校事務室や研究活動に関する情報を収集するだけでなく、会員相互間等での具体的な課題を共有し、その課題解決のための情報提供を行います。さらに、チーム時代の学校事務職員として意欲的・主体的に学校運営に参画し、事務部門の組織力を向上するための学校事務に関する支援策を検討します。また、昨今の社会情勢の変化に伴い、研修会等への参加方法の選択肢を増やせるよう、オンライン開催や映像配信に向けて検討、試行します。

- ・ホームページ「西三 J - n e t」の企画・管理、事務支援ツールの検討
- ・市町作成の手引き収集、各種事務手引きの作成と改訂
- ・会報「西三河会報」の発行、メールマガジン「西三 J - n e w s」の配信
- ・各市町の共同学校事務室に関する情報提供・支援策の検討
- ・研修会等オンライン開催の検討・試行